

服部正 + 高橋耕平

Research Question vol.01

芸術家と障害のある人の創作が会う時

障害のある人の創作活動の現場に、支援者として関わるアーティストがいます。障害のある人の作品の展示に関わるアーティストもいます。あるいは、障害のある人とともに自らの表現行為を行っているアーティストもいます。この展覧会は、そのような**6人のアーティストへのインタビュー映像と写真資料**で構成されています。

アーティストたちは、なぜ障害のある人の表現に関心を持つようになったのでしょうか。その関りは、彼ら自身の創作活動にどのような影響を与えているのでしょうか。この企画は、障害のある人の創作活動を研究する**服部正**によるインタビューの記録を、美術家の**高橋耕平**が映像と写真で再構成して展示するものです。



伊東 宣明 ITOH Nobuaki

美術家、NPO 法人障害者芸術推進研究機構プログラム・ディレクター

・・・作品を見ない、美術関係者が来ない、ということこそが本当の障害なんじゃないかなと個人的には思っています。・・・

森 太三 MORI Taizo

美術家、みずのきアトリエ講師

・・・みんな絵を描いている時とか、表情を見ていたら、それが障害がある人かどうかは関係ないです。全く一緒に、僕も多分制作している時、あんな顔しています。・・・



今村遼佑、高野いくの、寺岡海

IMAMURA Ryosuke TAKANO Ikuno TERAOKA Kai

美術家、art space co-jin スタッフ

・・・自分がこれを作りたいと思えたこと自体が、十分なコンセプトになり得るといふところを思うことができ、それで勇気もらえるということはありません。(今村)・・・



岩下 徹 IWASHITA Toru

舞踊家(即興ダンス)

湖南病院非常勤職員(ワークショップ「ダンスセラピーの試み」ファシリテーター)

・・・素直ということは、ごまかせない・ごまかしきれない何かがあり、そういう身体の方々と同じ場を共有することで、こちらもごまかせなくなってくるわけです。・・・



2023年

1月10日(火)～1月15日(日)

開館時間 10:00～18:00 *会期中無休 観覧無料

企画: 服部正 (甲南大学)

映像制作・展示構成: 高橋耕平 (京都芸術大学)

問い合わせ先: 服部正 hattori@konan-u.ac.jp



KYOTO UNIVERSITY OF THE ARTS

学校法人 瓜生山学園 人間館1階

京都芸術大学 ギャラリー・オーブ前通路スペース

606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116

telephone: 075 791 9122 facsimile: 075 791 9127

市バス5系統「上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前」下車すぐ

叡山電鉄叡山線「茶山駅」より徒歩10分

駐車場・駐輪場はございませんので、公共の交通機関をご利用ください。

*この企画は、JSPS 科研費 18K00154 の助成を受けています。

